

生産性向上に向けたDX活動 - これまでの取り組み -

「身近な課題をDXで解決」の考えのもと、実務担当の小集団活動として22年度からスタート
 テーマによっては、より本格的な全社活動に格上げ

22年度「ジェイテクトギヤシステム-DX」活動計画

項目	2022年度					2023年度			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
準備期間									
意識レベルの向上 (DX社内ディスカッション)	DX概略	DX概略	DX概略	ありたい姿	個別テーマ				
DXシステム						資料化			
ありたい姿、取組テーマの可視化/資料化						可視化/資料化			
身近なDX活動	テーマ別小改善	テーマ別小改善	テーマ別小改善	テーマ別小改善	テーマ別小改善				
ITツール評価	試行	評価	試行	評価					
環境整備 (ネットワーク、モバイル端末、大型ディスプレイ、パソコン)	みたけ(一部暫定対応)							みたけ	
									瀬戸

23年度「ジェイテクトギヤシステム-DX」活動計画

項目	2023年						2024年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
DX認定取得	情報収集	計画立案	準備	準備	準備	申請			
社内スモールビジネス⇒スタートアップ	コラボ先リサーチ				テーマ選定	体制構築			活動開始
デジタル人材育成	ジェイテクトグループ育成方針考慮	デジタル人材育成方針		人選	DX検定教育	検定試験	評価	育成計画作成	
IT活用人材				Teams/SharePoint/Power Platform/RPA [Step1初級]					
データサイエンティスト				対象業務/対象者検討					
活動報告	役員報告				役員報告				役員報告
身近なDX活動	Tebiki	間接部門対象拡充		直接部門対象拡充					
	XC-Gate	明知視察	本番稼働						
	π(パイ)web	選定	導入	本番稼働	初期稼働監視		振り返り	次年度活動計画検討	
	Share Board	工機 課題収集		企画統括部トライ		全社展開案策定			
特命プロジェクト	データ一元管理		仕様確定/システム改修①		本番稼働①	システム改修②			本番稼働②
	品番マスター/部品表	現状把握	品番マスター作成		部品表構築		順次運用開始		
DX環境整備	WiFi/NW監視	本番稼働	初期稼働監視		N/W監視機能強化				
	QuickSolution		対象拡充		稼働環境増強				活用範囲の拡大
	モバイル端末		初期稼働監視		性能評価	再配置			

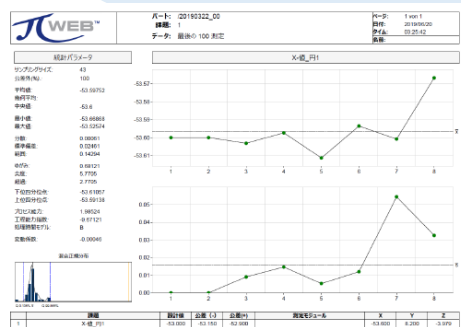
経営における重要な課題として認識されていた「生産に関するデータ活用」及び「品番マスター・部品表構築」をプロジェクト化し推進

事例1.

工場内ペーパーレス
(XC-Gate導入)



データ管理・分析
(n-Web導入)



事例4.

高速AI検索環境
(Quick Solution導入)



工場内全エリアWiFi化

事例2.

生産データ一元管理
品番マスター/部品表
DX特命プロジェクト

改善事例の即時活用
(Share Board導入)



事例3.

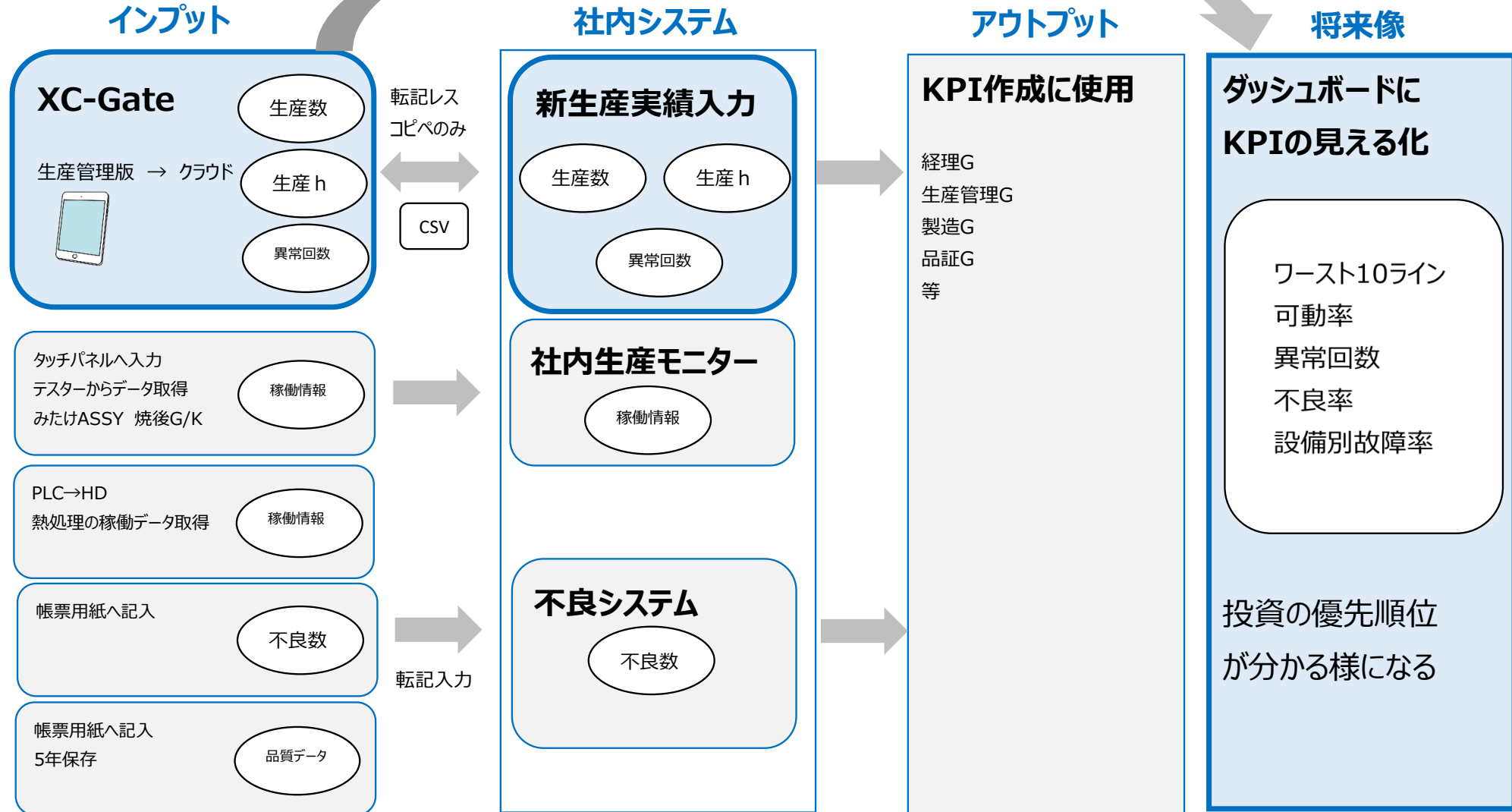
外国人への動画教育
(Tebiki導入)



堅牢なデータ security

事例1. 工場内パーパス(XC-Gate導入) ①

データの流れ



事例1. 工場内パーパス(XC-Gate導入) ②

ダッシュボードイメージ

ワークシート 例

Q1	停止ロスを低減したい
Q2	設備稼働データ (稼働時間・停止時間 etc) 停止要因データ (段替え、突発故障 etc)
Q3	可動率、停止要因割合
Q4	設備別、日別で各種指標を把握したい
Q5	停止要因だけでなく停止時間にも着目
Q6	各設備の可動率が把握できるので、ボトルネックになっている設備が特定できる。ボトルネック設備の停止要因割合が把握できるので、何をカイゼンすべきか明確になる。停止時間にも着目することで、チョコ停、ドカ停のどちらが停止ロス全体への影響が大きいかを把握できる。
Q7	停止ロス分析

設備の稼働状態をガントチャートで詳細確認

停止要因のパレート図で主要な停止ロス要因を把握

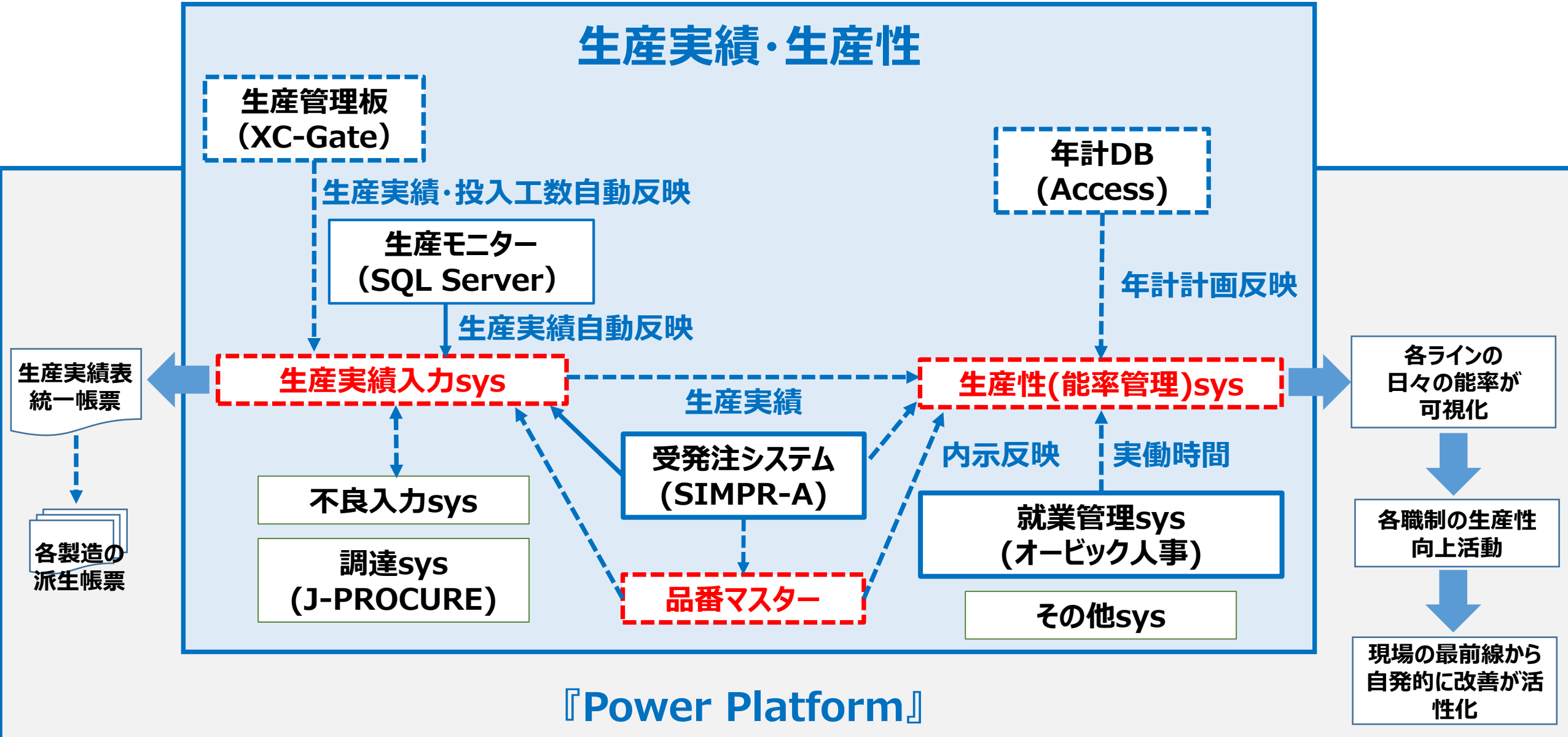


可動率(折線)と停止要因別停止時間(積上棒)の遷移を確認

1回の停止時間が短いチョコ停と、長いドカ停に対して、総停止時間(赤線)を比較しどちらが停止ロス全体への影響が大きいかを把握

稼働や計画停止も含めて、その割合を確認

事例2. 生産データ一元管理



事例3. 外国人への動画教育(Tebiki導入)

【Tebikiとは】

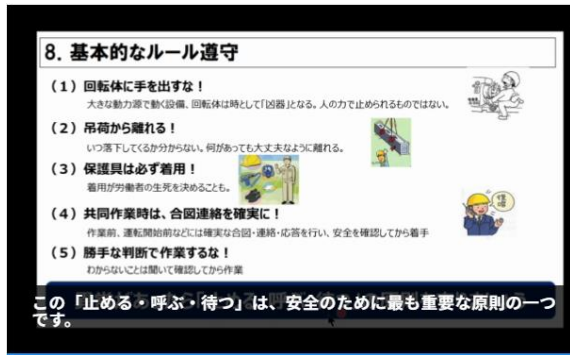
Tebikiは動画を簡単に編集できるITツールになります。主に教育マニュアルの作成で**多くの企業**で採用されています。弊社では紙の手順書やマニュアルを使用しており、動画作成をした事が無い方がほとんどだと思いますがTebikiを使えば**誰でも簡単に**動画マニュアルを作成することができます。

【Tebikiのメリット】

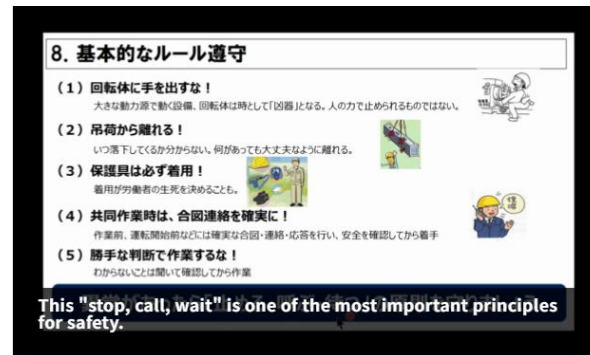
- ・新人の方の習熟スピードが上がり**教育工数の低減**が期待出来る。
- ・安全に関する動画を作成することで**やってはいけない動き**を明確に出来、事故を減らせる。
- ・細かい**動作ポイント**が分かりやすい。

【Tebikiの特徴】

- ・紙→クラウドへ 紙の保管や更新などが**必要無い**。
- ・外国人スタッフには**自動翻訳で母国語**で対応できる。



日本語バージョン



英語バージョン

簡単に変更可能

Tebiki 導入企業



製造現場の教育課題

- ・人によって教え方が違う。
- ・正しいやり方(動作など)が紙では伝わらない。
- ・マニュアルを作っても更新されないで放置される。
- ・外国人スタッフがどんどん増える。
- ・新人教育時に細かいポイントが伝わりにくい。

現場教育の為の動画マニュアルとは?

単なる**動画編集ソフト**ではなく、現場の課題を解決できる**教育システム**である。

身近なDXテーマ活動

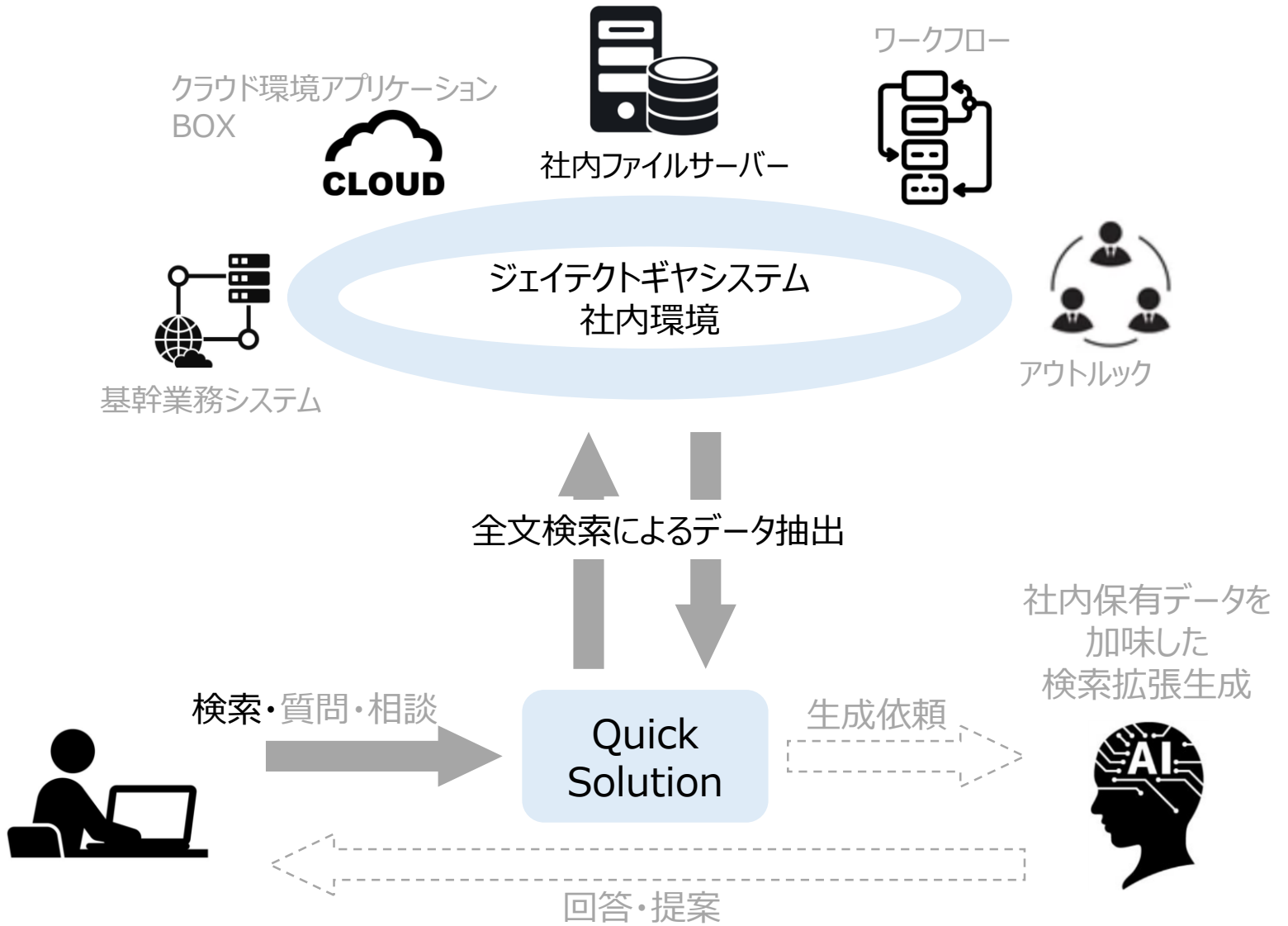
外国人の受け入れ、業務指導、安全教育における言葉の壁が実務担当者の負担を年々増加させていることに着目。製造、間接の混合メンバー3名で、2022.11～活動を開始し、複数言語に対応した動画コンテンツは、既に290を超え、負担軽減に寄与している。

事例4. 高速AI検索環境(Quick Solution導入)

将来構想を現実の世界へ



使用頻度に応じて成長(精度が向上)していく検索環境



* 「薄字・破線」は、今後、実装を予定している機能を表しています